

市議会を傍聴・視聴して思うこと

- 自主的に応募してモニターになったが、だんだんとモニターの役割が分からなくなり、傍聴していても、ただ聞いているだけになってしまっている。モニターの立ち位置が分からないと、モチベーションも下がっていくのではないか。
- 傍聴した時に、傍聴席から議員さんの発言が聞き取りづらい、両側のスピーカーが作動しているのか調べてほしい。
- 傍聴した感想を提出しているが、モニターの提出した意見が実際にどのように処理されているのか。回答率はどれくらいなのか分からない。また、意見をだす時に個人名を記名しているが、これは個人情報なので、一つの考え方としてアルファベットの頭文字等ではいけないのか。
- 朝明中学校の移転問題について視聴していたが、議会側と行政側、どちらが正しいのか分からなかった。それまでの経緯が分からないので何度見ても理解ができなかったが、県議会の録画映像を視聴した時、アナウンサーの公平な解説があり、とても分かりやすかった。四日市の場合は、そのまま放送しているので分からないことがある。

市議会の広報について

- モニターの任期について、熱意のある方であれば、任期を1、2年延ばしても良いのではないか。ただし、新旧交代により新しい問題も発掘してもらわないといけないので、熱意のある希望者については10人程度までであれば、継続してもらった方が四日市の行政が活性化するのではないか。
- モニター制度は、モニター側からみると自分の意見が言えて非常にいい機会だと思うが、議会側からみて何か得るものはあるのか。議会側のメリットが私たちからは、まったく分からない。ただ、自分の思っていることを言っているだけなのか、それとも何か役に立っているのか。それが分かるともっと発言内容も変わってくるのではないか。例えば、去年開催した結果はどうだったのか。
→ 議員) いただいたご意見は広報広聴委員会できりまとめ、全議員に周知している。その中で、具体的に進めていたのは、タブレット端末の配付や議場への大型スクリーンの設置などである。具体的に取り組んではいるが、結果を報告できていなかったと思う。
- モニターになった時は、市政に関する意見を言えると思っていたが、実際は議会運営に関することだけだと分かった。市政に関する意見はインターネットに登録しているので、そちらに答えている。議案に対する意見募集には答えているが、一般質問の内容に関する質問はできないと捉えている。
- 議会運営の在り方について、意見を述べるだけでは非常に守備範囲が狭い。過去に何回も同じ意見が出ているのではないか。新たな意見が出てこないのであれば、議案や条例に対してパブリックコメントのようなかたちで意見が言えるようではどうか。議員制度を壊すものではなく、こういう目線で見ている人も、というようなかたちでモニターの役割に加えてはどうか。
- 図書館の問題では、今、専門家を集めて話が進められていると思うが、市長が集めた方々なので、モニターなどがもっと早い段階で根本から話ができればと思う。それが、市民ファーストな政治ではないかと思う。

○パブリックコメントをやるとどのような人がモニターになるのかが難しくなる。今のような状況であればよいが、破たんする可能性もあるので、安易に決めないほうがよいと思う。

○行政側や議員側も気づかないような点について、パブリックコメントは何のためにあるのか根本を考えれば、モニター制度も変革していく時ではないかと思う。時間をかけて少しずつ検討してもらえればと思う。

→ 議員) 議会として、これまでにモニター制度導入や情報公開など、さまざまなことを取り入れてきた。それ以前は、監視する体制もなく議会内の文化ができあがっていた。そういった背景があり、ひずみや課題を解決していこうとする中でしくみをつくっていき、議会モニター制度がしくみとしてできあがって機能している中で、役割の変化を求めだしているということが分かった。新たなしくみや新たな役割がないと充実感や役割というものがみえにくくなっている中で、もう一度、議会もモニター制度をより充実させていくためにどうするのか、変化していかなくてはいけないと感じた。

議会運営について

○昨年、四日市市議会の議員定数が削減されたが、その時に定数の4名削減案と2名削減案がでて、なぜあのようなかたちになったのか一市民として不思議で仕方がないし、憤りもおぼえている。市民目線にたった案件を上程し、4名削減案を先に議決し2名削減案を議決しないというふうにしなると、市民としては不愉快である。市民目線に立ったかたちで採決してほしいと思う。

○3月に議会を集中してみていたが、その時感じたことは議長さんの裁量によって随分話が変わると思った。すごく議論が盛り上がっているのだけれど、議長さんの考えと相違がある時に打ち切られてしまう雰囲気を感じた。時間的なこともあったと思うが、議長さんによって、方向性がかなり決められると感じた。

→ 議員) 政策を議論していく中においては、事前に念入りな準備しておかないと、途中で審議を打ち切らなくてはいけなくなる。一般質問についても、通告制度にすると答えがわかっているのに眠たくなるといった意見もモニターさんからあるが、限られた時間の中で質問をするときに、準備がないと効率が悪いので通告制をとっている。議会も議会運営上、議会日程を決めてその会期内に収めていくという努力はしないといけない。決まらないことがあれば、市政としては停滞するということもあるので、議会運営委員会に諮りながら議会を運営している。

議会報告会について

○一般質問の教育委員会の答弁が事実と異なっていたため、シティ・ミーティングで一般質問の内容について質問をしたが、受付できないと言われた。議員さんへ個人的に言っても公の言葉にはならないので、タイムリーに発言できる公の場がほしい。

→ 議員) 議会報告会は、あくまでも議決した報告なので、範囲を決めている。プロセスはあるが、結果を報告するのが議会報告会である。シティ・ミーティングは4つの委員会に分かれており、テーマを決めている。テーマ以外の質問については、早い時間に終了した時に、委員長の裁量で受け付けていることとなっているが、委員長判断で決めかねている部分もあり、その時は進めることができなかったと思う。議会報告会は、参加人数の減少や固定化など課題もあり、今後どうしていくのか議会内でも議論されている。

○市民には活発な意見を出す人もいれば、無関心な人もいて大半は無関心である。だからといって、

議会報告に誰も参加しないから取りやめるということは問題であると思う。無関心な人たちをまきこんでもりあげていくという努力がみえない。意見を出さず黙っている人を引っ張り込むことを真剣に考えてもらわないと衰退していくと思う。

○シティ・ミーティングについては、色々質問したいので行政の方に出席してもらうことはできないか。議員さんでは返事をもらうことができないので、なぜそうなったのかが聞きたいが、伝えまです程度で終わってしまう。テーマの所管する行政に出席してもらえたらと思う。

→ 議員) 議会報告会は基本、議員が主体的にやるということとなっている。ただ、シティ・ミーティングのテーマで専門性があり、議員が答えられないようなものに関して、行政側の出席が可能であるか、検討の余地があるのではないかと思う。ただ、議会内で議論した結果、やはり議会で全て完結させるべきという意見もあるかもしれない。いただいたご意見は議員に伝えるので、どのように集約されたのかを報告したい。

→ 議員) シティ・ミーティングは、こまかなところがみなさん気になると思うが、答えられないところが多く、のちほど連絡するというかたちになってしまい申し訳なく思っている。議員としての役割があり、行政としての役割がある中で、どのようなやり方が良いのか。また、市政にどうしたら興味を持ってもらえるのか常々考えているが、そもそも政治離れしている中で地方の政治にどのように興味を持ってもらうのか、これからの大きな課題であると思う。

○議会報告会は 24 地区で開催されているが、地区にはそれぞれ特性があるので、連合自治会長に聞いてもらうなどして、その地区の特性を生かしたテーマにし、行政側の部長などにも出席してもらったらどうか。もっと地区の人の興味のあるテーマを設定して開催した方が中身があると思う。また、テーマの質問だけになると時間的に早く終わってしまうので、余った時間については、その委員会の所管であればどのような質問でも受けるかたちにしないと真のシティ・ミーティングにならないと思う。もっとやり方を変えなくてはいけない。

→ 議員) 現状は 4 会場のうち 1 ヲ所は総合会館で開催し、あとの 3 ヲ所は順番に回っていくというやり方をしている。機械的に回っているので、工夫の余地があれば考えていきたい。

○議会報告会は、その議会で議決したことを全部話されようとしている。どんどん話をされて、その間ただ聞いているだけなので、関心のある議題であればよいが、聞いている方は一体何を話されたのか分からないというのが実情である。今のままこれを重ねられていくのは、聞く側と話す側に乖離が大きすぎるような気がする。もう一度、市民が参画するような会をどういうふうにするべきか、本当に検討してもらいたい。市民が関心を持たないのは革新的な議題がないということにもつながっている。市民が放っておけないと感じる議題が少なく、人ごとのように聞いている人が多い。どういう方法があるのか考え直して、多くの市民の関心をひくような議案もいくつか設定して、目を市議会に向けてもらうという努力をぜひお願いしたい。

○議会報告会は議会で決まったという報告になっているので、大きな問題が知らない間に決まってしまうので、上程される前に報告してもらえないかと思う。

→ 議員) 議会としても行政側には、議案として上程される前の段階で、市民が関心を寄せている大きい案件については、議会に情報を出してほしいとお願いしている。2 月定例月議会で予算案が出されるが、その前の 1 1 月定例月議会で情報を出してほしいという話を議会でしている。その情報を 3 4 名の議員が周知していくことが必要と考える。

市議会を傍聴・視聴して思うこと

○6月定例会月議会ではケーブルテレビについて一般質問があり、インフラとして大きく捉えてケーブルテレビの利用方法を質問していた。一問一答方式なので、聞いていて面白かったのだが、災害の発信の仕方についての質問では、一番弱者の方をポイントとして突っ込んで欲しかった。9月20日の台風では避難準備がCTYなどで発信されたが、一番弱者である障害者、重度の障害者が避難しようとする地区市民センターは、一人の方で車いすを押して入っていけるとところが基本的に無いからである。このようなことを細かく突っ込んでほしい。

→ 議員）ご指摘のことは、所管の委員会の中で耳が痛いくらい行っている。危機管理は総務委員会であるので、ぜひ委員会の傍聴に来てもらいたい。

→ 議員）細かく見ていただいているので感激している。CTYをどうやって活用していくか、特に災害時の広報活動に利用できないかという思いの質問であったが、肝心のセンターまで行って、中へ入れないというあたりが抜けていた。障害者の方が行って、自分で、自力でということが抜けていたので、このことは別のところでちゃんとします。モニター意見交換会の場に限らず、市政報告会などでも意見をいただけると我々は勉強になる。

○避難の話でひとつ言いたい。私が住む地区では、そこかしこに高層マンションがあり、小学校に避難するよりはマンションに避難した方がいいのではと考える。市が避難場所としてマンションと契約するのは難しいと思うが、もう一度避難場所を考え直してもいいのではと思っている。市はもう一度アンケートを取って市民センターを中心に考え直すことは無いのか聞きたい。また、このことについては、議員から市の方に言ってもらいたい。

○地区にマンションの建設があった時に、建設会社に津波の時に避難ビルとして協定を結びたいと言ったことがあったが、最終的には住人が決めることと言われ、完成した後に断られたことがある。マンションについては市から頼んでも難しいと思う。

→ 議員）避難所よりマンションが安全ではないかということであるが、津波避難ビルは一時的に津波をやりすごすため場所であるし、指定避難所については長期に避難をして、そこには水などの物資が届けられる場所である。民間のマンションにむやみに入ることはできないので、何かあった時に津波避難ビルとして入れるように協定を結ぶことになるが、その場所を避難場所とし、長期滞在することはできない。それぞれ性質が違っている。また、指定避難所のあり方、見直しについては、委員会の中で指摘はしているが、理事者がアンケートを取るのかどうかはわからない。民間のマンションと津波避難ビルの協定を結ぶことは、責任問題が生じることがあり、なかなか難しい現実がある。

市議会の広報について

○政務活動費について、富山市議会から端を発して次から次へと出てきたが、議長の開会式のあいさつで、四日市は開かれた議会でオープンにされているとのことで安心しているが、税金をどう使うかという話なので、大事なことだと考えている。市政情報センターに行けば見られるということで

はなく、政務活動費の額とか議員個人の用途など、例えば議会広報に乗せるとか、積極的にオープンにしたほうが今の時代は、評価されると思う。

→ 議員) 議長、副議長が定例会議会の終わったのちに定例記者発表をやっているが、先日、やっていかないといかんよと記者に発表した。3000枚の領収書をアップするには、事務局に労力がかかるので、それをするのは果たしてどうなのかということだが、時代背景から考えればやっていかざるを得ないのかなと思う。

○しっかりとやっている自信があれば、ネットで領収書1枚1枚公表しなくてもいいと思う。無駄な経費を事務局にかけることなく、基本的にはコストをかけずに、お互い信頼関係が出来るような形の集計だけでも発表するなどどうか。ちゃんと裏付けがあれば、領収書までネットで出さなくてもいいのかなと思う。

○ホームページへのアップという方法ではなく、各議員が報告できるフォームを考えたらどうか。簡単なもので良いので一旦やってみて、さまざまな意見が出てきたら、またその意見を取り入れていく。地元での活動やネットで中継されている議会の一般質問などを見ていると、議員の活動範囲というのはだいたいわかるので、そのようなフォームさえできていけばチェックができると思います。

→ 議員) 個人の意見であるが、四日市市議会は、私が知る限りでは不正は100%無いと言い切れると思っている。特にお金のことに関しては、四日市市議会は潔白だと思っている。そして、領収書のホームページでの公開については、事務局の手間がかかることがあるが、時代背景を考えればそこまでやらないとならないのかとも思う。また、ネット使えない人はどうするのかという問題もある。31万市民の方々が納得をしていただけるように、頑張っていきたい。

○四日市市議会はこんなにクリーンであるということアピールすべきだと思う。広報などに書くことで住民が知り、また他府県の方も知ることとなり、良いことがどんどん広がっていく。

→ 議員) 公明正大にやっていることを、粛々とみなさんに周知するのが一番いいのかなと思う。

○四日市があるとか無いとかという話ではなく、メディアに報じられていない不正あるいは、不正らしきものが実際にはたくさんあると思う。

→ 議員) マスコミ報道で政務活動費が第二の報酬だとよく言われ、ほとんどの方が、議員の懐にいったん入って自由に使っているんだらうと認識が多いと思うが、四日市市議会は全くそういうことはない。

→ 議員) 私も、議員の収入として考えて使えるような現状には絶対はないということは断言できるが、そのことが市民のみなさんに伝わっていないというのが、我々としても歯がゆいところである。我々からオープンにしていって、いろいろなことを開示していける土壌はあると思うので、ネットなど、いろいろな方法があると思うが、積極的に公開していくということには賛成であるし、しばらく時間はかかるかもしれないが、議論を深めていけば、いろいろなことがオープンになって、誰でもアクセスできる情報として、皆さんに提供できるのではないかと考える。

→ 議員) メディアが騒いでいるので、これまでは甘かった市町も難しくなると思う。その点でも当市が一番厳しいところを走っていると思う。それが、みなさんにきちっと伝えられていないのは確かに広報が足りていないということである。

議会運営について

○一般質問には一括と一問一答があるが、違いはあるのか、どこかで規定のようなものがあり、決めているのか。

→ 議員) 一括で質問を述べてから、理事者に同じように答えてもらう方法と、一問一答で回答をってもらう方法があり、それは議員各人が選ぶことができる。今の議員は、ほぼ一問一答で一般質問をしている。

○一問一答の方が、わかりやすいし突っ込みやすい、答える方も適当にごまかしにくい。全部で行くと、その部分だけそろっといけば済むが、一問ずつだとなかなか逃げにくいと思う。希望であるが、できれば全て一問一答にしてもらった方が聞いている方は面白いかなと思う。

→ 議員) 議員各人のスタイルや考え方によるもので、なかなか統一は難しいとは思いますが、見ていて面白いということや、興味をひかれるということは、大事な視点だと思う。また委員会では、原稿は無く、議員と理事者は一問一答で質疑をしているので、そういったところでフォローできていると思う。確かに一般質問のあり方というのを、一回考えることも必要かなと個人的には思う。

→ 議員) 質問の内容によっては、一括の方が良い時もあると思う。例えば、避難所にスロープが無いといったことなどは、一問一答により問題点を出すことができ、さらに質問もできるので良いし、四日市の財政がどうなっているのかという大きな内容では、一括の方が良い時もあると思う。

○四日市市で、もしも他市での政務活動費のような事例が発覚した場合、議員が自分から辞職しない場合は、辞職を勧告することはできないのか。詐欺とか窃盗にあたり、犯罪であると思うが。

→ 議員) 議会としては何かあれば勧告をするが、そこからの決断は個人であり議会としてはそれ以上はない。

○会社であれば、このような罪を犯せば免職であり、辞職ということは絶対でない、そういう点で甘い。地方公務員も結局は自主退職で、退職金も出ている。

→ 議員) 公務員は懲戒免職となれば、解雇なので退職金は出ないと思う。議員では、国会でもそうであるが、犯罪を起こしたけども、辞めなさいといっても辞めないというのは往々にしてある。議員となると法律が違うのかなと思う。そこは国を挙げての法改正なりをしていかないと変わっていかないところであると思う。ご指摘のような気持ち、感覚は我々も思うし、同意見であるが、そういう仕組みになっていないというところをご理解いただきたい。

市議会を傍聴・視聴して思うこと

○傍聴席は議員の声が聞こえにくいので改善してほしい。

→ 事務局) 音量設定等を確認する。聞こえにくい場合は、その際に係りの者に伝えてもらえれば対応を考える。

○傍聴に2、3回行ったが、傍聴者が非常に少なかった。中学生や高校生向けの見学会の開催や、地区ごとに日を設定して重点的に傍聴に来てもらうような取り組みを行うなど、傍聴に行きやすい環境づくりが必要ではないか。

→ 議員) ホームページ等さまざまな媒体を通して広報を行っているが、傍聴者数が少ないというのが現状である。議員個人として支援者等に傍聴に来てもらえるようお願いもしているが、傍聴したいと思ってもらえるような質問の仕方やテーマ設定を行っていくことが肝要だと考える。

→ 議員) 市議会モニター制度の創設も傍聴者数の少なさが理由の一つにあった。傍聴者が少ないと議員としても非常に残念である。傍聴者を増やすためには、さらなる周知活動を行う必要があると考える。

→ 議員) 四日市市明るい選挙推進協議会をはじめ各団体の傍聴を受け入れており、今後も傍聴者が増えるような取り組みを行っていききたい。

○選挙権が18歳以上に拡大される中、小学校や中学校、高校において、学校教育の一環として議会を傍聴し、若い頃から政治に関心を持つことは非常に重要である。教育委員会と連携して、取り組みを進めるべきである。

→ 議員) 教育委員会に相談をしたい。なお、先日水沢小学校の生徒が社会見学として議場の見学を行った。

→ 議員) 平成25年には子ども議会を開催しており、大変有意義であった。子ども達に対し、議会を身近に感じることができるような機会を設けることは非常に重要であると考えます。

→ 議員) 小学生のプラネタリウム見学のように、市議会を見学する機会を設けるよう教育委員会に要望をしたい。

○同じ内容の質問を続ける議員がいる。防災・減災の視点に立ち、地元想いの質問をしているのは良いことだと思うが、執行部との議論は平行線である。他の質問をしてはどうか。

→ 議員) ご意見として承る。

○TV中継を録画したが、長時間にわたっており、全てを見ることはできていない。休憩時間や興味のない部分をカットできるようにしてほしい。また、画面にテロップを入れたり、概要をまとめるなど、見る側への配慮も必要ではないか。加えて、大型スクリーンに映った資料の文字が小さかったりして見づらいため、資料作成に係る規定や基準を設けるべきではないか。

→ 議員) 以前は解説者をつけており、事前取材を受け、質問終了後に概要等を解説してもらっていたが、費用対効果を考慮して取りやめとなった。現状がベストとは考えていないので、経費面も踏まえ、より良い手法を検討していきたい。

→ 議員) 大型スクリーンを用いた資料の見せ方など、プレゼンテーションに関する技術が不足していると考え。今後、勉強会などにより、見せ方・伝え方を向上させていかなければならないと考える。

○テレビの番組表を見たが、市議会中継を探すことができなかった。わかりやすくするべきではないか。

→ 事務局) C T Yのサブチャンネルであるため、わかりにくくなっている。ホームページ等にはチャンネルの切り替え方法を掲載しているので参考にしてほしい。

市議会の広報について

○市議会モニターの任期は最大2年であるが、短いと考える。やる気のある人については、最大3年としてもよいのではないか。昨年も同様の意見があったが対応はどうか。

→ 議員) より多くの方から広く意見を聴くために、任期は最大2年としているところであるが、ご意見も踏まえ再度検討したい。

→ 議員) 個人的には最大3年にすることに賛成する。

○政務活動費に関する周知はどのように行っているのか。より効果的な広報を行うべきであり、どうすれば市民に伝わるのかを研究すべきである。

→ 事務局) ホームページに各会派の年間の収支状況を掲載しており、また、市政情報センターでは、領収書や視察報告等のコピーを配架している。なお、先日行われた議長定例記者会見においては、政務活動費の支出に係る情報公開の現状および今後の対応について発信を行い、翌日新聞にも掲載された。

→ 議員) 本市議会は、数年前には議会改革度全国No.1になっており、情報公開の面においても先進的な取り組みを行ってきた。PRが下手であることは否めないため、情報発信の手法について今後研究していきたい。

○政務活動費について、領収書等を公開していることは評価するが、市民へのさらなる情報公開を進めるため、議会だよりに会派ごとの視察報告等を掲載してはどうか。

→ 議員) 現状においても年1回は議会だよりに会派ごとの収支状況を載せているが、昨今の社会情勢も踏まえ、他市の事例も参考にしながら、政務活動費に係る内容の充実を検討したい。

→ 議員) 視察等を行った際は、できる限り一般質問などに生かすようにしているが、市民に対し、さらに周知を図るためにも議会だよりへの掲載を検討したい。

○議会だよりは文字が多く、読みづらいので、視覚的に理解できるような工夫をするなど、親しみやすい紙面づくりに取り組んでほしい。

○議会だよりは時間の制約なく、読みたい時に読めるという利点があるため、市議会の広報ツールとしては有効であると考え。

→ 議員) 議事の報告だけでなく、コラムやあとがき等を掲載するなど、親しみのある紙面づくりを検討したい。

議会運営について

○傍聴者や視聴者を増やしたいのであれば、見せ方を考える必要があるのではないか。多少費用がかかっても、必要な対策を講じていくべきである。

→ 議員) 昨年度に本会議場に大型スクリーンを設置し、あわせて採決システムを導入することにより、議会の見える化を進めた。今後も努力を続けていきたい。

○CTYは視聴率が出ないとのことであるが、市内で一定数を抽出してアンケート調査を行えば、どれだけの人が議会中継を見ているのかを把握できるのではないか。

→ 議員) 執行部が行っている市政アンケートの中に、「市議会本会議の生中継を見たことがあるか」という問いを設けており、平成27年度は18.0%となっている。ここ数年は低下傾向にあるが、要因としては、インターネット中継や録画の視聴などへの分散化が考えられる。

○テレビの番組表にどのような内容の質問を行うのかを記載するなどして、視聴する興味が湧くような仕組みを作るべきである。

議会報告会について

○議会報告会の会場はどのように決めるのか。自分の地区で開催される際には、近所の人に参加の呼びかけを行いたい。

→ 事務局) 毎回1か所は総合会館とし、他の3か所は、市内を3つのブロックに分け、ブロック毎に各常任委員会で会場の選定をしている。

○今回初めて議会報告会に参加したが、10月6日に行われた都市・環境常任委員会の議会報告会は、参加者が2名しかおらず、翌日の産業生活常任委員会の議会報告会も8名しか参加者がいなかった。あまりにも参加者が少ないので、原因を分析し、対策を講じるべきではないか。

→ 議員) 参加者にアンケート調査を行うなど分析はしており、昨年度から土日開催を試行的に行っている。興味のあるテーマや事柄があれば、多くの人に参加することもあるが、参加者は減少傾向にある。議会報告会の方法やシティミーティングのテーマ設定について改めて考えるべき時期に来ていると考える。

○動員はかけないのか。

→ 議員) チラシ等の配付は行うが、動員はかけていない。

→ 議員) 議員の地元で開催する場合は、ある程度声掛けを行うこともある。

○自治会等に対して動員をかけることも必要ではないか。

○広報をもっと行うべきである。回覧板で回したり、センターだよりに掲載するなどして、まずは地域の人に来てもらうことが大事である。

○シティ・ミーティングの時間が短いとの声を聴く。

○地域の課題を話したい人もいるので、そのための時間を設けるべきではないか。回答できなくても、議員に直接聴いてもらうことに意義があると考え。

→ 議員) 現状においても、臨機応変にある程度は地域の課題等も聴くという姿勢である。

→ 議員) 要望会になってしまう恐れもあるが、議会として地域の声を聴くことも重要であるため、検討したい。また、シティ・ミーティングのテーマ設定においても、学校問題など地域が抱える特有の課題をテーマとすることも必要だと考える。

→ 議員) 以前は、シティ・ミーティングのみを開催していた。今後、開催形式についても検討する必要があると考える。